

北野村古文書さがえり展





北野天満神社境内から生田の森方面を望む(明治2年) 個人蔵

「あいらじ」

慶応三年(一八六七)に兵庫が開港されたことにより、近隣の神戸村に外国人居留地が設定されました。明治時代半ばになると居留地に住む外国人達は、居留地からもほど近く風光明媚な高台である北野の地に注目し、次々と洋館を建ててゆきました。日本の政治家や財界人のなかにもこの北野周辺地域に洋風・和風の邸宅を建てる人が増えたため、北野・山本通地区は異国情緒の漂う住宅地として発展してゆきました。その後時代と共に洋館は次第に姿を消してゆきましたが、いまなおエキゾチックな雰囲気が残されています。一九八〇年には国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、さらにNHKの連続テレビ小説「風見鶏」放映(一九七七～八年)の影響もあって、この北野の地をめざして全国から多くの観光客が訪れるようになりました。

そつしたなか、この北野の地に伝わり、明治時代以前の北野村の歴史を語るうえで、きわめて貴重な史料群である西脇家文書が、同家のご意志によって、本年神戸大学大学院人文学研究科に寄贈されることとなりました。本センターでは、この史料群が、これからますますこのふるさと北野の地との関係が続いてゆくことを願い、「さとがえり」の意味をこめた古文書展示会をこの北野の地でおこなうことにいたしました。「観覧の皆様におかれましては、今回展示した数々の古文書を通して、モダンな街北野のイメージの背後に今も息づく江戸時代北野村をしのぶ機会としていただけたならば、企画したわたしたちとしては望外のことと考えています。

なお、古文書旧蔵者の西脇美代子様には、わたしたちと地元北野の方々との間をお取りもいただきました。また、神戸北野天満神社の宮司佐藤典久様には、展示会場のご提供に多大なご便宜をおはからいただきました。ご両名をはじめ、この展示会が実現するまでにご協力をたまわった多くの個人や団体の皆様に対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

二〇一〇年一月三日

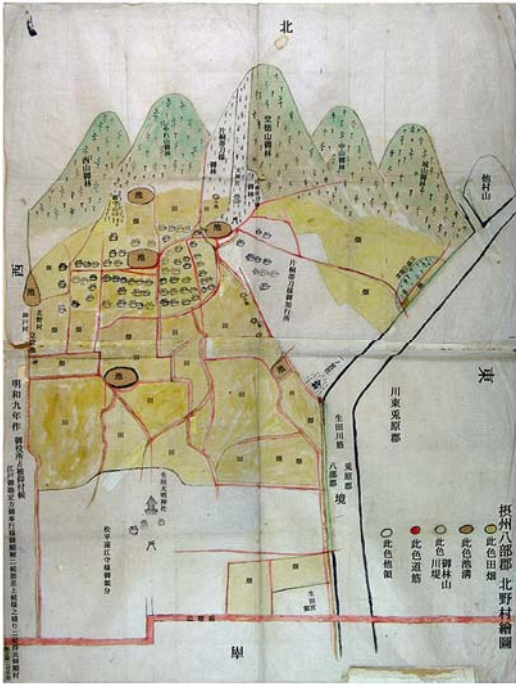
神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

センター長 釜谷武志

◇本冊子は「北野村古文書さとがえり展」(2010年11月3日～6日)展示図録パンフレットとして作成されましたが、都合により実際の展示順とは異なるページ配列をおこなっております。その点、あらかじめご了承ください。

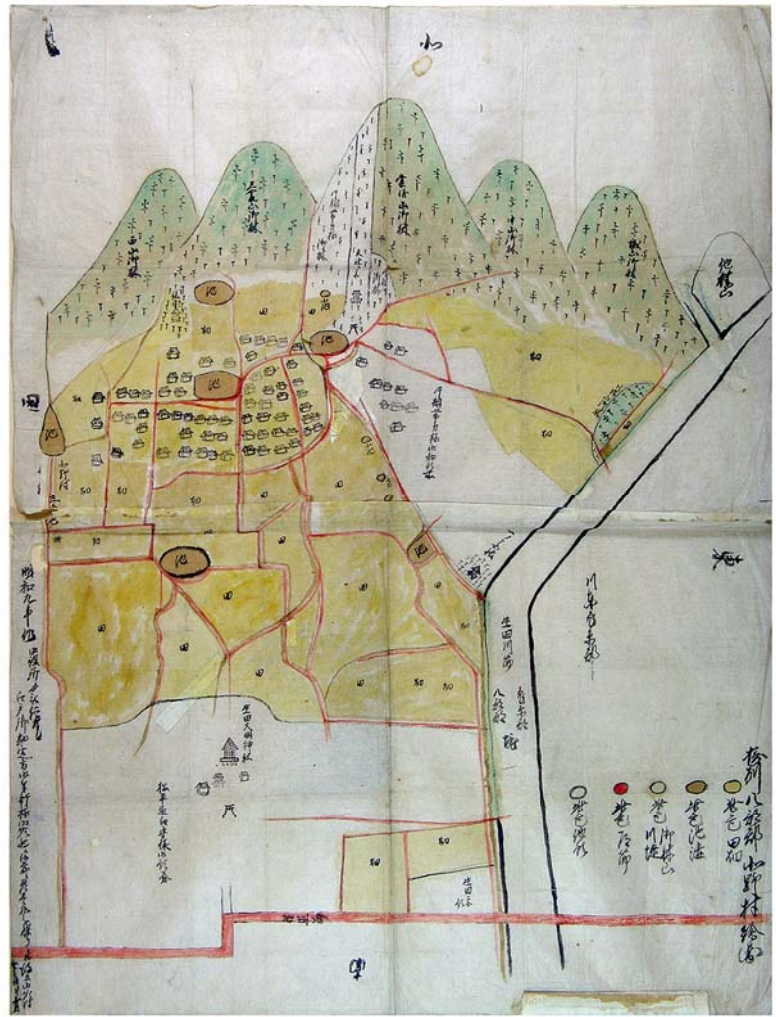
◇本冊子の編集は、木村修二(神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター)が行いました。

(読み取り図)

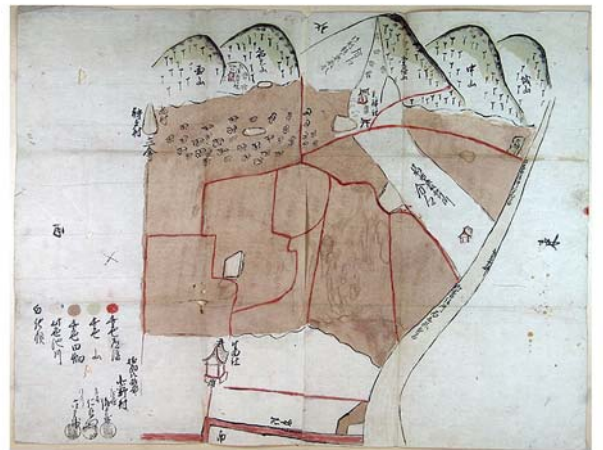


北野村のすがた

1 北野村絵図(明和9年)



3 山本通孝丁目式丁目地図(北野町地籍図)
(明治9年)



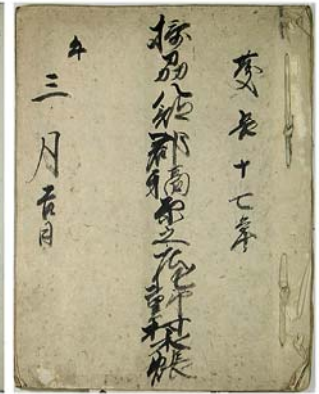
2 北野村絵図(江戸時代中期)

検地と法令

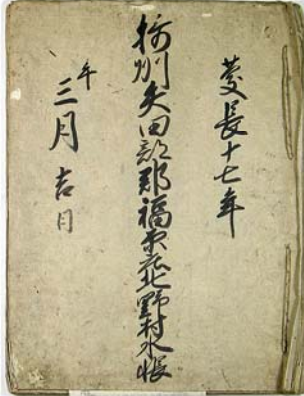
4 北野村新開検地帳
(慶長17年)



5 北野村水帳
(江戸中期力)



6 北野村水帳
(江戸中〜後期力)



7 北野村検地帳
(寛文4年)



8 在々御法度之覚書
(貞享2年)



9 御仕置五人組帳(前書)
(寛政7年)



11 切支丹御改寺請状帳
(元治元年)



12 切支丹御改五人組
誓詞帳(元治元年)



10 高札写(忠孝札)
(天和2年)



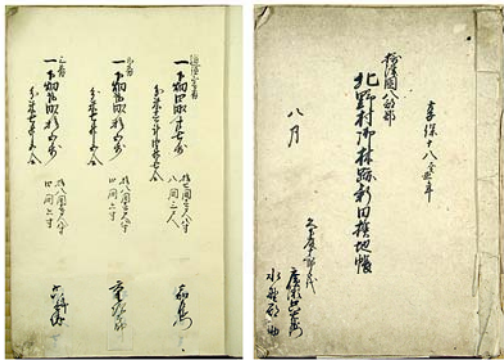


14 生田川新堤争論裁許書写 (享保元年)

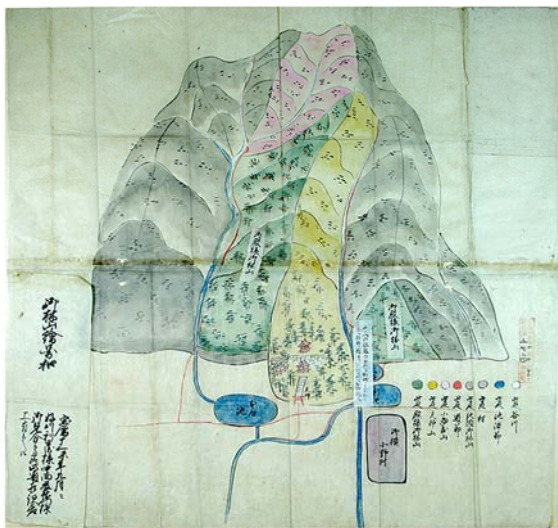


13 生田川筋新堤争論絵図 (正徳6年)

生田川をめぐる



18 北野村御林跡新田検地帳 (享保18年)



16 北野村片桐領御林山絵図 (宝暦13年)



15 北野村山林図 (安永5年)

北野村と山



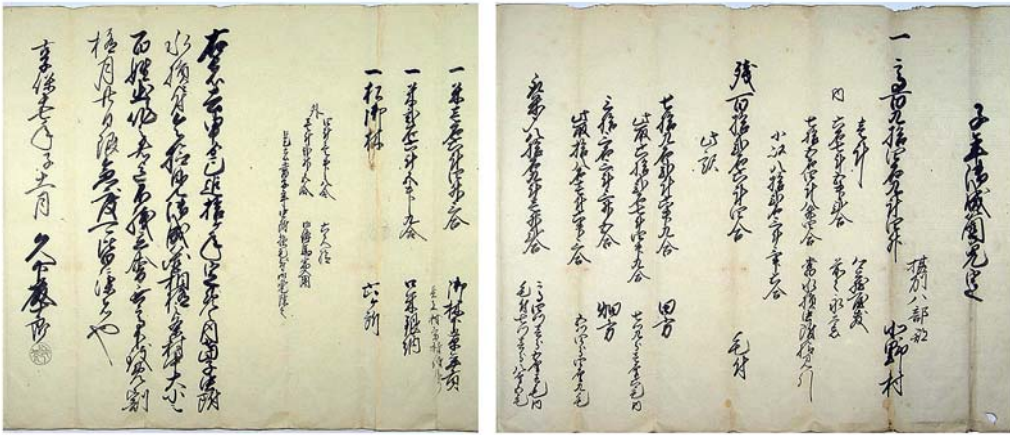
20 御林山番につき一札 (安政5年)



17 北野町持山割図 (明治初期)

北野村の災害

29 北野村年貢免定
(享保17年)



28 田畑砂入帳
(寛保2年)

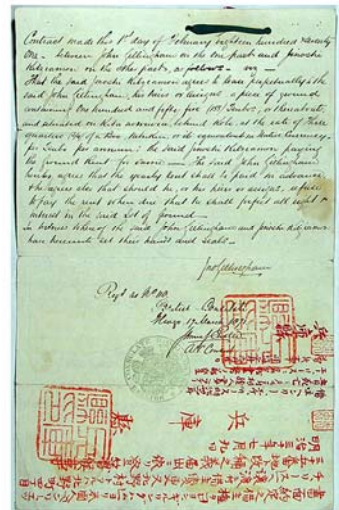


30 百姓貯夫食御下穀
囲高帳
(天明8年)



北野村から北野町へ

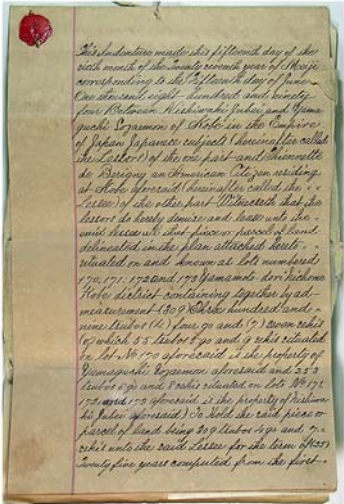
32 外国人への土地貸与契約書
(明治3年)



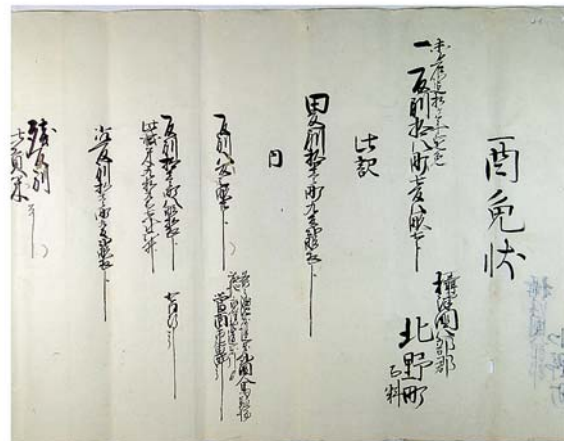
33 外国人への土地貸与契約書
(明治27年)



34 外国人への土地貸与契約書
(明治27年)



35 北野町古料年貢免状
(明治7年)



北野村の寺社

31 天神什物帳
(天保15年)

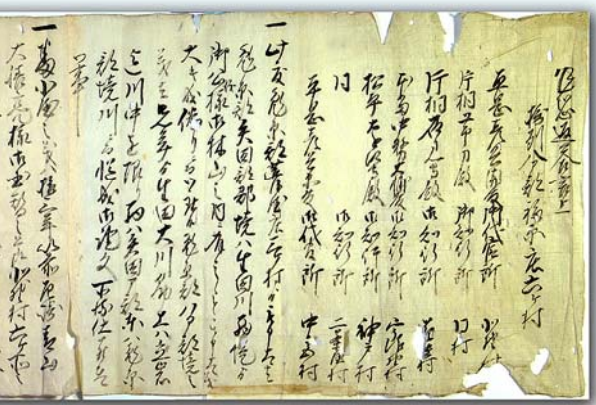


郡境山境草山争論



21 郡境山境草山出入裁許絵図
(享保11年)

裁許絵図裏書



22 郡境山境草山出入につき返答書
(享保8年)